

2021年度事業計画書

～地域とともにあゆむ～

社会福祉法人敬愛会

令和3年度事業計画概要

社会福祉法人敬愛会中長期行動指針

Plus Quality「輝く未来をデザインする」

令和2年度当初より全国的に多発した新型コロナウイルス感染症の拡大恐怖により、年度における様々な事業に多大なる影響を与えました。例年開催している地域シンポジウムや介護保育研究発表会の中止をはじめ、事業所外研修や職員の採用活動等が制限される中で改めて当会が抱える課題も浮き彫りとなり、これらに対する対応の必要性を感じた一年でありました。

福祉産業に限らずこうした状況の中においても成長を続ける企業には、「変化への対応スピード」と「レビューに対するアジャイル速度」が決定的に異なります。

もはやこれらのスピードに完全についていくためには、これまでの蓄積のみでは対応できない極めて複雑な課題が多数存在します。

令和3年度この課題に立ち向かうため当会は、「輝く未来をデザインする」を中長期計画を推進していく上で全ての職員の行動指針と位置づけ、「職員一人ひとりがデザイナーである」という自覚を持ち、さまざまな困難を打ち砕くためにデザイン思考を積極的に取り入れ、トライアンドエラーの精神で臨み、従来とは次元の違うスピードでPDCAを行う法人へと成長させてゆきます。

さらには新型コロナウイルスの感染及び拡大防止が懸念される中、これらの対応のみならずWITHコロナの中での社会福祉法人経営及び各種事業所運営への影響を最小限にとどめ、この機会を新たな法人成長へのチャンスへと変えるべく以下を重点事業と位置づけ、行ってまいります。

1 介護報酬及び障害者サービス報酬改定に対する確実な対応

- ・徹底した法令遵守
- ・LIFEへの対応
- ・新たな介護システムの導入
- ・各種加算へのトライ
- ・ICT・Iot機器を使用したさらなる最適化の推進

2 組織全体のさらなる防災機能の強化

- ・WITHコロナ禍における施設運営のあり方の見直し
- ・在宅要介護者受入体制整備事業への参加
- ・防災訓練の強化

3 組織力の強化について

- ・ 事業部の再編によるシームレスな協働体制の構築
- ・ みらいデザイン事業部創設によるデザイン思考を生かした法人経営の実践
- ・ 公認会計士による会計監査
- ・ 法人に必要な不可欠な「人財」の育成

4 キャリアパスの構築及び給与体系の刷新

- ・ キャリアの「可視化」にフォーカスしたシステムの導入
- ・ 従来の給与体系を見直し新たな評価システムの導入

5 田野倉地区拠点の事業力強化及び新規事業への着手

- ・ 田野倉地区拠点の事業力強化
- ・ 茂木地区拠点の円滑なスタート
- ・ 現在計画中の市貝地区拠点に対する着実な前進

法人事業部

法人事業部概要

法人事業部は、理事会の意思や決定事項が最大限に成果として繋がるよう調整役としての役割と経営者トップが常に法人全体を俯瞰することができるように現場の人材管理・育成、業務改善、法令遵守の要としての役割を担ってまいります。また、今後大規模化・多機能化する法人組織のカスタマーセンターとして、または、事業コンシェルジュとしての役割を最前線で行ってまいります。		
担当課長ならびに苦情担当窓口	オペレーション マネージャー	黒内 孝一 (くろうち こういち)
法人事業部在籍職員数	3名	
オペレーションマネージャー	1名	
事務職員	2名	

(ア) 理事会及び評議員会運営

- 1 理事会および評議員会、法人本部が一体となり法人の経営力強化を図ります。
- 2 社会情勢や情報を敏感に察知すること、外部の経営資源に対して的確な情報を入手し提供していきます。
- 3 法人経営を行っていく上での活動の拠りどころとして本部があるように積極的に信頼関係を構築していきます。

(イ) 財務管理

- 1 各施設の事業予算の執行状況を把握し、法人全体の財務管理を行っていきます。特に新規事業に関しては、慎重かつスピーディーに財務状況を把握し適宜報告していきます。
- 2 職員が、法人の一員として法人全体及び事業所の予算、収支等を理解した上で事業に取り組めるよう、職員の意識や知識の向上に努めます。

～本部のソーシャルアクションプラス1～

『不易流行（ふえきりゅうこう）』いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていく。意識改革を発信することで地域社会への貢献を目指していきます。

特養事業部

特養事業部概要

<p>特養事業部は、ご入居者の尊厳を守り安心安全な環境の中で、ご本人の望む生活をご提供させていただくため日々介護、医療、機能訓練等の技術技能習得とともに、接客マナーや介護施設職員としての倫理観を身につけた職員育成を目指していきます。また、法令の遵守行動指針の徹底により地域の皆様から信頼される職員となるよう誠心誠意つとめてまいります。</p>		
担当ならびに苦情担当窓口	グループリーダー	川又 洋志 (かわまた ひろし)
	生活相談員	高橋 理沙 (たかはし りさ)
<p>特養事業部在籍職員 54名</p> <p>副施設長 1名 (介護福祉士・社会福祉主事・介護支援専門員資格者)</p> <p>グループリーダー 1名 (介護福祉士・社会福祉主事資格者)</p> <p>生活相談員 1名 (社会福祉主事有資格者)</p> <p>介護支援専門員 1名 (介護福祉士、介護支援専門員有資格者)</p> <p>機能訓練指導員 1名 (理学療法士有資格者)</p> <p>栄養士 1名 (管理栄養士有資格者)</p> <p>看護チームリーダー 1名 (准看護師有資格者)</p> <p>看護一般職員 4名 (正看護師有資格者 1名、准看護師有資格者 3名) 〔特別養護老人ホーム 敬愛荘〕</p> <p>チームリーダー 2名 (介護福祉士・社会福祉主事有資格者)</p> <p>一般職員 26名 〔特別養護老人ホーム てんまりの杜〕</p> <p>チームリーダー 1名 (介護福祉士有資格者)</p> <p>一般職員 14名</p>		

(ア) 特別養護老人ホーム敬愛荘

- 1 モバイル端末を使用したリアルタイムでの記録と見守り機器との連動による自動記録を実現し、特養独自の有効的活用方法の確立・運用を行うことによって非直接業務省力化を行うとともに、会議や打ち合わせ等をオンライン移行することで、職員が担当する現場から離れる時間削減を行い、ご入居者のサービス支援内容の充実を図っていきます。

2 人材の育成

新人育成プログラムの項目を3～4に限定し、繰り返しトレーニングを行うことで3年未満の職員の力量アップに取り組みます。また、現任研修のプログラムも昨年よりステップアップした内容を取り入れ、全職員のスキルアップにつなげていきます。

(イ) 介護支援

介護支援計画を作成するにあたり、介護を必要とされるご入居者やそのご家族の状況及び希望を踏まえ、ご入居者に対する支援の方針や解決すべき課題を明確にして立案、評価、再立案を行ってまいります。

(ウ) 栄養

施設間の情報共有・連携強化から、個別にご入居者の栄養及び食事の管理を行える体制をつくり、安全で健康的な食生活を過ごして頂けるようにします。また、旬の食材を使用した季節感のある食事を提供いたします。

(エ) 機能訓練

- 1 ご入居者のQOLを維持向上するため、十分な評価を定期的に行い、訓練の指導を行ってまいります。
- 2 ご入居者の身体機能や精神状況・日常生活状況の評価を定期的に行うとともに、多職種連携にて各ご入居者に寄り添い適切な訓練指導を行ってまいります。

(オ) 看護

- 1 日常の健康チェックと年2回の健康診断、介護職員を含む他職種からの情報をもとに、ご入居者の体調不良の早期発見に努め、異常時は速やかに医師、ご家族、他職種へ連絡し救急搬送を含め早期対応ができるように努めます。
- 2 人生の最終段階において人としての尊厳を保ち、ご入居者の不安や苦痛を少しでも和らげ、ご家族と医師や他職種と連携し穏やかな看取り介護を提供します。また、継続的に看取りに関する研修を行い知識向上に努めてまいります。
- 3 コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス感染症、その他の感染症等の予防

方法の研修や実習を行い職員へ感染に対する意識向上を促します。また、予防注射の実施や感染レベル表を用いた予防策により感染拡大防止に努めます。

(カ) 特別養護老人ホーム てんまりの杜

- 1 施設へ入居することによりご本人やご家族が諦めなければならなかったことを実現するため目標に掲げ、多職種連携による自立支援介護の実践、ご本人の自己実現に向けて支援を行うことで、ご本人のADL・意欲の向上と介護職員の専門性向上によりサービスの質向上に努めていきます。
- 2 感染予防対策を継続しながら「withコロナ」の意識を持ち、施設内イベント等を開催し、ご入居者の満足度向上に繋げていきます。また、職員の情報共有を迅速に行えるツールの検討導入を行い、感染に対する意識を高く維持することで施設内での感染予防に努めていきます。

～ 特養事業部のソーシャルアクションプラス1 ～

オンラインツールを活用するため、操作方法の周知や使用する環境整備を進めご入居者のご家族及び地域の方々が感染症の不安なく、いつでも交流できる環境を整えていきます。

地域密着型事業部

地域密着型事業部概要

<p>在宅介護事業部は、新型コロナ感染状況下であっても、ご利用者の一人ひとりの意向を尊重した日常生活支援や安心かつ満足して暮らしていただける環境づくりを目指します。職員一人一人が専門的知識の習得に努め、サービスの質を高めていきます。</p>		
担当ならびに苦情担当窓口	<p>小規模多機能ホームなごみ 管理者</p> <p>グループホームさらい管理者</p>	<p>柳田 サキ子 (やなぎだ さきこ)</p> <p>薄井 学 (うすい まなぶ)</p>
<p>地域密着型事業部在籍職員 27名</p> <p>【地域密着型事業部】</p> <p>地域密着型事業部長 1名 中津原 陽子 (なかつはら ようこ) (看護師有資格者)</p> <p>[小規模多機能居宅介護なごみ] 管理者氏名 柳田 サキ子 (やなぎだ さきこ)</p> <p>管理者 1名 (介護福祉士有資格者)</p> <p>主任介護職員 1名 (介護福祉士有資格者)</p> <p>一般職員 9名</p> <p>[グループホームさらい] 管理者氏名 薄井 学 (うすい まなぶ)</p> <p>管理者 1名 (介護福祉士有資格者)</p> <p>主任介護職員 2名 (介護福祉士有資格者)</p> <p>計画作成者 2名 (介護支援専門員有資格者1名)</p> <p>一般職員 10名</p>		

(ア) 小規模多機能居宅介護事業 なごみ

1 利用者満足度の向上

ご利用者本人の自己実現に向けて介護計画に反映させていきます。居心地の良い空間づくりを大切にし、サービスにの質の向上のために出来ることは何かを考え取り組んでいきます。

2 他職種連携による支援の拡大

ご利用者の心身の状況や家族を取り巻く環境の変化を踏まえ、多職種連携をとりながら支援を行っていきます。

3 職員の意識向上

内部研修の開催、外部研修への参加により、介護技術はもとより知識の習得や質の向上を図り利用者の症例を検討し職員の認知症に対する理解を深めながら、支援していきます。新型コロナウイルス感染症に対して職員一人一人が感染対策の意識を高め対応していきます。

4 多機能性を発揮した柔軟な支援

住み慣れた自宅や地域での生活が継続できるよう、利用者やご家族のニーズに合った柔軟なサービスの提供をしていきます。アットホームな環境づくりを大切にして安心して利用して頂けるよう努めます。

(イ) 認知症対応型老人共同生活援助事業 さらい

1 利用満足度の向上

withコロナの中でも、その人の意思を尊重し、可能な限り自立した生活が送れるよう、その人らしいの生活スタイルに合わせた環境を作ります。

2 職員意識の向上

キャリアパス制度導入により職員1人ひとりのスキルアップを図り入居者様、ご家族の要望に質の高い介護で対応できるように努めます。

3 地域社会との関わり

新しい生活スタイルに合わせてよつばカフェの開催や施設行事への招待、地域行事への参加を通し地域との関わりを再開していきます。

(ウ) 認知症対応型通所介護事業 さらい

1 利用満足度の向上

いつまでも住み慣れた家での生活が続けられるよう残存機能の維持や筋力の保持が出来るよう支援します。家庭的な雰囲気の中で利用者様の得意な事を活かして利用してもらい、また来たいと思って頂けるように支援します。

2 職員意識の向上

認知症の理解や、認知症を抱えるご家族の問題など職員間で情報交換し、統一した介護が出来るよう努めます。

3 地域社会との関わり

利用時の様子に変化が見られたときは、ご家族や関係事業所と情報を共有し、連携を図り迅速な対応に努めます。

～在宅介護事業部のソーシャルアクションプラス1～

新型コロナウイルス感染予防に努め、新しい生活スタイルの中での「地域交流」の在り方を進めていきます。

地域共生創造事業部

地域共生創造事業部概要

<p>地域共生創造事業部は、既存の在宅サービスとリエゾンコミュニティラボ内での障害者福祉を含め、地域で生活続ける多くの方に幅広く利用していただけるよう、ご利用者一人ひとりの自立支援と地域共生社会の実現を目的としたサービス提供を行って参ります。また、職員の専門的知識とサービスマナーの向上に努め、「障害」や「高齢」といった様々な課題に対してシームレスな対応ができる環境づくりを目指して参ります。</p>		
<p>担当ならびに苦情担当窓口</p>	<p>オペレーション マネージャー</p>	<p>永森 広幸 (ながもりひろゆき)</p>
<p>[ショートステイ] 主任介護職員 1名 (介護福祉士有資格者) 一般職員 10名</p> <p>[デイサービス] 主任兼生活相談員 1名 (介護福祉士、社会福祉主事有資格者) 生活相談員 1名 (介護福祉士、社会福祉主事有資格者) 一般職員 4名</p> <p>[居宅介護支援事業所] 管理者氏名 相田 和代 (あいた かずよ) 管理者 1名 (主任介護支援専門員資格保有者) 介護支援専門員 2名 (介護支援専門員資格保有者)</p> <p>[老人デイサービスセンター] 管理者兼生活相談員 1名 機能訓練指導員 1名 看護職員 1名 一般職員 3名</p> <p>[障害者就労支援A型・就労支援B型] 管理者 1名 サービス管理責任者 1名 職業指導員 2名 生活支援員 2名</p> <p>[居宅介護支援事業所] 管理者氏名 高野 誠一 (たかの せいいち) 管理者 1名 (介護支援専門員資格保有者)</p>		

(ア) ショートステイ事業 敬愛荘ショートステイ

1 利用満足度の向上

介護サービス計画に基づき、一人一人に適した速やかで柔軟性のある介護サービスの提供を効果的に行うため、多職種間の連携を密にし、心身の健康保持と自立支援に努め、合わせて生活の活性化を図ります。また、サービスマナーの徹底を図ることで「また利用したい」と思われる事業所を目指して参ります。

2 職員意識の向上

ショートステイ担当職員、居宅介護事業所、通所介護事業と連携してご利用者の情報を共有化することにより、ご利用者、ご家族が抱えている問題点をチーム一丸で解決できる事業所を目指し、積極的で安定したサービス提供を行うことにより帰属意識の向上を目指して参ります。

(イ) デイサービス事業 敬愛荘デイサービスセンター

1 他事業者との差別化

事業所としての方向性とブランド力を構築するためへのチャレンジを忘れずに、ご利用者の想いを尊重し、一人一人のアクティビティー活動等の日常生活支援を行う事で他事業所との差別化を図ります。

2 職員意識の向上

職員のサービスマナーと利用満足度の向上を目標とし、事業所内の連携を強め、必要な知識、技術とご利用者の受け入れ態勢を整え、明確な行動基準を有した職員育成を図ります。また、お互いの業務を理解することで、安定したサービス提供に努めます。

(ウ) 居宅介護事業所 敬愛荘ケアプランセンター

ご利用者及びご利用者を支える介護者の声に耳を傾け、より細かなアセスメントを行うことで、在宅での生活を維持して行けるサービス計画の作成を行います。ご利用者、介護保険制度や介護支援に必要な各種制度の知識・理解を深めることにより、専門的視点からの介護計画に反映させて参ります。

(エ) デイサービス事業 JOYSフィットネスクラブ

1 利用満足度の向上

各職員が「リハビリ特化型」という事業所の強みを十分に理解することにより、ご利用者が安定した日常生活を継続でき、「利用して良かった」と思われるサービス提供を行って参ります。

2 職員意識の向上

職員間での情報共有を密に行い、業務内容に関する内部研修を定期的に行う事でサービスマナーと職員の資質向上を図り、事業所一丸となり帰属意識を高めて参ります。

(オ) 就労継続支援A型、B型事業 bistro perle de beauté

- 1 就労継続支援A型では、レストラン業（食品作り、接客）を通して、生活における衛生面への意識やコミュニケーション技術等のスキルアップを図り、利用者一人ひとりの「自己実現」をサポートできるよう、能力にあった目標を設定し段階を踏んだ支援を行ってまいります。
- 2 就労継続支援B型では、レストランで使用する農産物の栽培行い、レストランにて直売を行うなど、個々の能力にあった訓練を目指します。また、軽作業の導入等を行い、作業内容の充実を図り、利用者の獲得につなげてまいります。
- 3 官公庁、地元企業への営業活動とともに、商品活動や販売の取り組みを行い、地域での利用者の活躍の場を広げてまいります。
- 4 専門的知識を目指し、職員へ対しての内部・外部研修を実施し、個々のスキルアップを目指し支援力の向上へ繋がります。

(カ) 居宅介護事業所（ケアプランセンターcraft plan もてぎ）

在宅のご利用者が適切な居宅サービス等を利用できるよう状況に合わせた迅速な対応と、専門的視点から居宅サービス計画の作成を行います。また、居宅サービス事業者や地域包括支援センター、医療機関等との連絡調整を行い、地域に求められる事業所を目指します。

～地域共生創造事業部のソーシャルアクションプラス1～

地域で暮らす住民と共に「withコロナ」の中での地域共生社会の実現を目指し、「地域の繋がり」をデザインできる支援を行って参ります。

みらいデザイン事業部

みらいデザイン事業部概要

<p>みらいデザイン事業部は、みらいに繋がる法人の取り組み・活動を中心にデザイン（導入・見直し）することで将来性があり且つ、魅力あふれる法人づくりに努めます。また、キャリアパス制度や各種委員会活動をサポート・最適化をすることで、制度の適切な運営や自主性・積極性・将来性をもつ職員の育成に繋げる事で、組織体制の強化を目指します。</p>		
<p>担当ならびに苦情担当窓口</p>	<p>みらいデザイン事業部 オペレーションマネージャー</p>	<p>田邊 美由樹 (たなべ みゆき)</p>
<p>みらいデザイン事業部在職員数 11名</p> <p>みらいデザイン事業部オペレーションマネージャー 兼みらいのK a z e 保育園園長 兼 ISO 経営管理責任者 1名（衛生管理者保有者）</p> <p>[空と虹のなーさりい・アフタースクール： 放課後等デイサービス・児童発達支援]</p> <p>児童発達支援管理責任者 1名 指導員（保育士含） 4名</p> <p>[みらいの Kaze 保育園]</p> <p>チームリーダー 1名（保育士保有資格者） 一般職員 2名 (うち保育士保有者1名・子育て支援員1名)</p>		

(ア) 児童発達支援・放課後等デイサービス

空と虹のなーさりい・アフタースクール

- 1 那須烏山市健康福祉課、こども課、市内の保育園・幼稚園、小中高学校、特別支援学校、NPO法人等と連携し、地域のネットワークチャンネルの構築を早期に実現致します。
- 2 利用される児童に適切な指導（リハビリテーション）を行えるように、各職員の能力向上に努めます。

(イ) みらいのK a z e 保育園

- 1 コロナ禍により社会全体が引きこもりを余儀なくされている昨今、子育て世代はそもそも近年において核家族化や地域のつながりの希薄化などの影響から悩みや相談に対して支援を受けられずに孤立してしまうケースが問題視されているところに否が応でもコロナ禍により人と人とのつながりが絶たれた状況は深刻な問題だと思われます。私たちの使命の一つに子育て世代に信頼されたセーフティーネットとしての役割があります。こういう時代だからこそ私たちは積極的に地域に向けた発信を行って保護者はもちろん地域の子育て世代に対して子育てに関する情報提供・積極的支援及び後方支援に努めてまいります。

- ・未就園児教室の開催
- ・地域開放

- 2 職員の質の向上に向けた取り組み

私たちは「保育所保育指針」に示された事項を基本としてより良い保育計画を作成し実行していくとともに常に見直し改善を図り更なる質の高い保育の展開を図っていきます。そのためにも私たちは絶え間のない自己研鑽を積み専門性の向上に努めてまいります。

- ・職員の研修機会の確保
- ・内部研修

～みらいデザイン事業部のソーシャルアクションプラス1～

コロナ禍において、職員へ感染対策に関する教育や適切な情報共有などを行い、予防対策の徹底を継続していくとともに、withコロナを意識した中で活動の充実化を図り地域との繋がりを続けていきます。

受託事業

地域包括支援センターからすやま概要

地域包括ケアシステムを核とした地域で、安心して生活できる体制作りを基本とし高齢者が要介護状態や要支援になることの予防及び重度化することを防止するとともに、万が一要介護状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことができるように取り組んでいきます。また、自立支援型地域ケア会議を毎月開催することにより高齢者の重度化予防にくわえ、地域のネットワーク構築の強化を図ります。検討事項の中から日常生活圏域における地域課題の確認を行い、ケア推進会議につなげて地域共生社会の実現に向け、行政、関係機関、地域住民と協働し体制作りを協力していきます。		
担当管理者ならびに苦情担当窓口	管理者	田澤 かおり（たざわ かおり）
地域包括支援センターからすやま 在籍職員数 5名		
管理者	1名	（主任介護支援専門員 資格保有者）
社会福祉士	1名	（社会福祉士資格保有者）
保健師等	1名	（看護師資格保有者）
認知症地域支援推進委員	1名	（認知症地域推進委員研修修了）
介護支援専門員	1名	（介護支援専門員）

1 包括的支援事業

地域包括支援センターの機能を充実し、高齢者の在宅生活を支え、安心を提供する役割を果たしていきます。

2 自立支援型地域ケア会議の推進

高齢者の自立支援に資するケアマネジメントに向けた支援について薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、生活コーディネーター等多職種で検討しながら地域の課題把握と解決に向け地域のネットワーク構築を目指します。

～地域包括支援センターからすやまのソーシャルアクションプラス1～
コロナ禍により未成熟であった自立支援型個別ケア会議を軌道に乗せ、介護予防の意識を高める自助支援、見守り声かけなど地域の互助支援を積極的に行っていきます。